

令和 7（2025）年度第 2 回みよし市環境審議会 次第

日時 令和 7（2025）年 1 2 月 4 日（木）
午後 2 時 3 0 分から午後 4 時まで
場所 市役所庁舎 3 階 研修室 1， 2

1 会長あいさつ

2 議事

- (1) みよし市環境審議会のスケジュールと審議内容について (資料No.1)
(2) 第 2 次みよし市環境基本計画に係る取組指標の進捗状況調査の結果及び中間見直しへの対応案について (資料No.2)

3 その他

次回環境審議会開催予定
令和 8（2026）年 3 月頃

タイムスケジュール等

項目	詳細等	時間
1 あいさつ	委員長のあいさつ	14:30～14:35
2 議事	資料 No. 1～2 の説明及び内容等に関する審議	14:35～15:55
3 その他	次回日程案内その他連絡事項	15:55～16:00

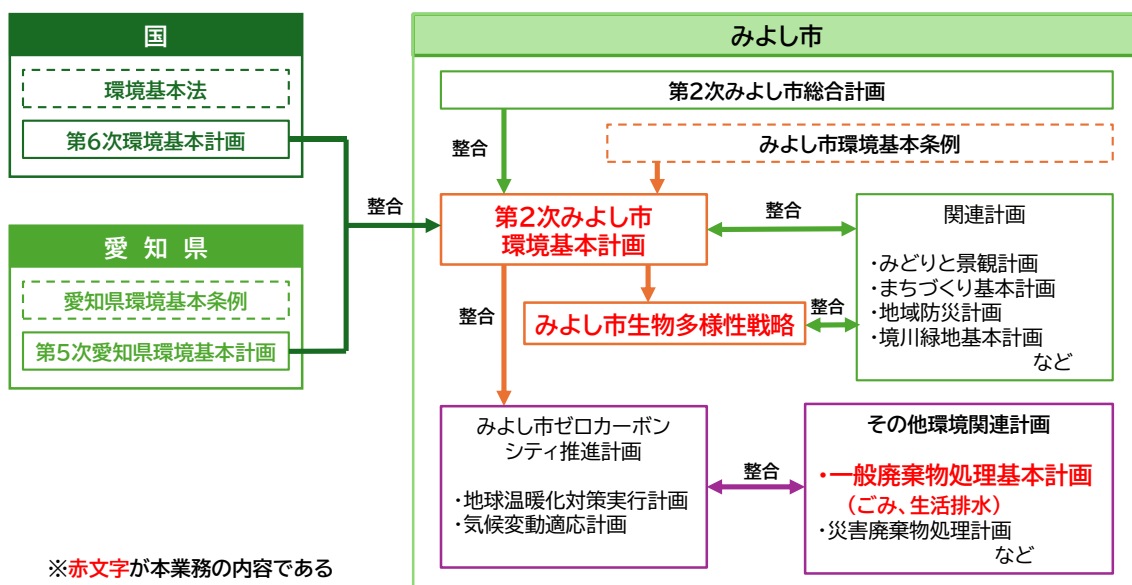
みよし市環境審議会のスケジュールと審議内容について

1. 第2次みよし市環境基本計画の中間見直し、みよし市生物多様性戦略の中間見直し及びみよし市一般廃棄物処理基本計画の策定

①事業の目的

令和3(2021)年度から令和12(2030)年度までの10年間を計画期間としている現行環境基本計画及びみよし市生物多様性戦略は中間見直しの時期を迎えており、また、平成24(2012)年度から令和8(2026)年度までの15年間を計画期間としている現行ごみ処理基本計画は、計画期間満了により計画改定時期を迎えている。

このため、現行環境基本計画及び現行生物多様性戦略を中間見直すとともに、次期一廃処理基本計画(ごみ処理基本計画と生活排水処理基本計画)を策定する。



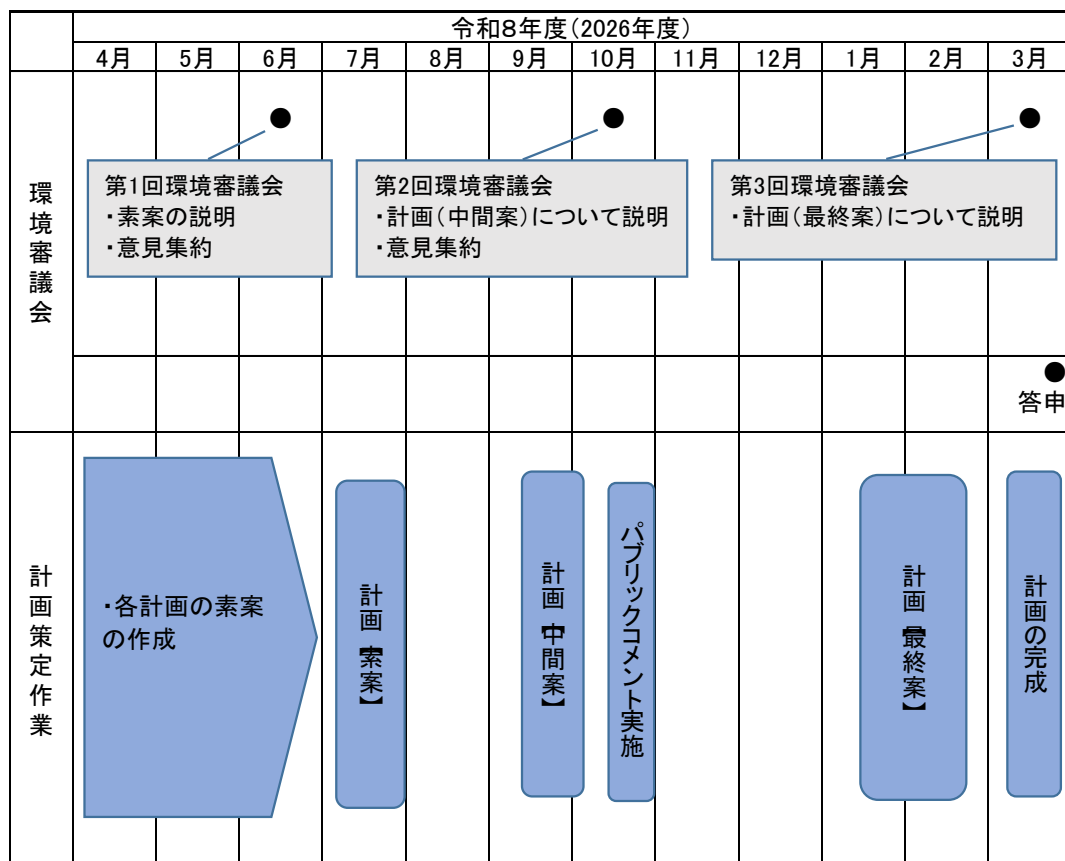
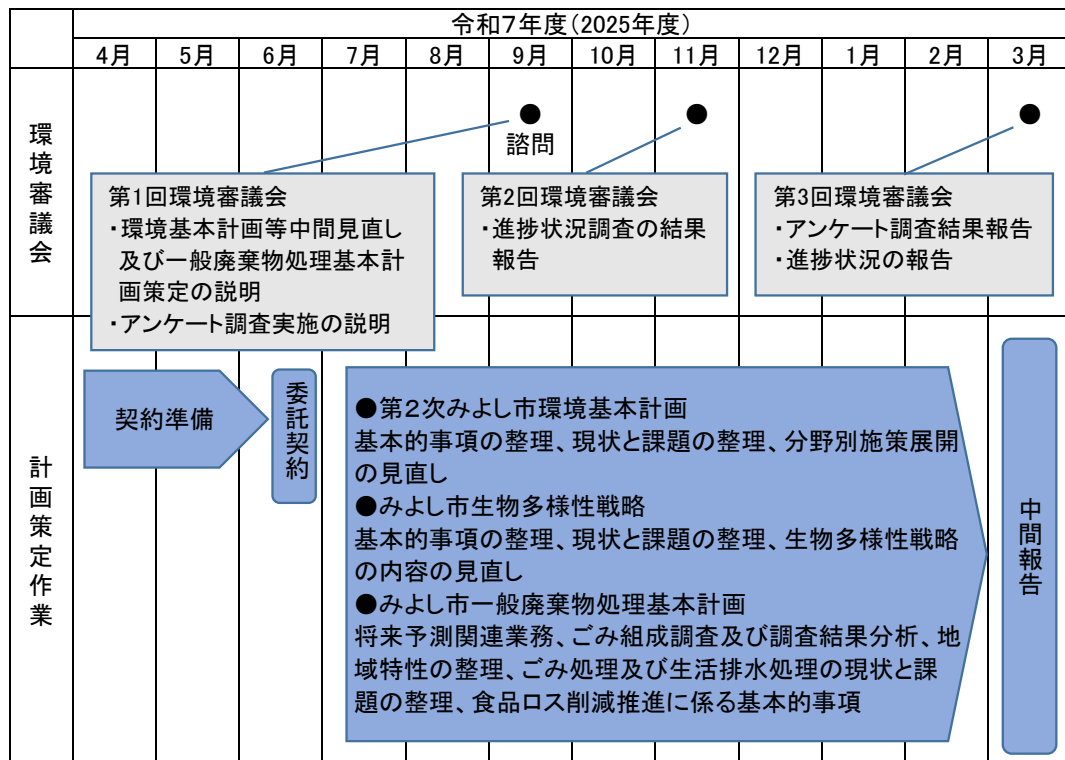
計画の位置付け

②期間

令和7(2025)年度及び令和8(2026)年度の2年間

2. みよし市環境審議会

①全体のスケジュール(案)



②審議内容

回数	開催日程	報告・審議内容
第1回	令和7年9月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次みよし市環境基本計画、みよし市生物多様性戦略の中間見直し及びみよし市一般廃棄物処理基本計画策定について【報告】 ・みよし市環境基本計画アンケートの実施について【審議】
第2回	令和7年12月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・みよし市審議会のスケジュールと審議内容【報告】 ・第2次みよし市環境基本計画に係る取組指標の進捗状況調査の結果及び中間見直しへの対応案について【審議】 <p>※現行計画の進捗状況を確認したうえで、中間見直しへの対応案を審議する</p>
第3回	令和8年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケート調査の結果【報告】 ・みよし市ごみ処理基本計画中間見直しに係る減量・リサイクル目標と取組の進捗状況と次期計画への方針について【審議】 <p>※現行計画の進捗状況を確認したうえで、次期計画への対応案を審議する</p>
第4回	令和8年6月	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次みよし市環境基本計画及びみよし市生物多様性戦略(中間見直し)素案の内容について【審議】 ・みよし市一般廃棄物処理基本計画素案の内容について【審議】 <p>※それぞれの計画についての内容を審議する。(主なポイント;取組指標、目標値や取り組みなど)</p>
第5回	令和8年10月	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次みよし市環境基本計画及びみよし市生物多様性戦略(中間見直し)案の内容について【審議】 ・みよし市一般廃棄物処理基本計画案の内容について【審議】 <p>※それぞれの計画の内容を審議し、計画案とする(以降、パブリックコメントを実施)</p>
第6回	令和9年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次みよし市環境基本計画及びみよし市生物多様性戦略(中間見直し)について【報告】 ・みよし市一般廃棄物処理基本計画について【報告】 <p>※パブリックコメントを踏まえて、計画を完成する。</p>

※環境審議会の開催は現時点の予定であるため、変更の場合もあります。

第2次みよし市環境基本計画に係る取組指標の進捗状況調査の結果及び 中間見直しへの対応案について

1 第2次みよし市環境基本計画

近年の環境を取り巻く社会情勢の変化を踏まえ、環境分野における新たな方向性や目標等を設定し、具体的な施策の展開により、環境分野の取組を総合的かつ計画的に推進するため、令和3（2021）年3月に「第2次みよし市環境基本計画」を策定した。

本計画では、将来像として「循環・共生する 持続可能な ずっと住みたいまち」を掲げ、本市の地域資源を最大限活用しながら、地域間の特性に応じた資源を支え合い、共生することにより、環境・経済・社会が総合的に循環し、地域の活力が最大限に発揮される持続可能なまちを、市民の皆さまや事業所の方々などと一緒に築いていくことを目標としている。

2 施策分野（第2次みよし市環境基本計画書 P48 参照）

- (1) 脱炭素のまちづくり
- (2) 自然共生のまちづくり
- (3) 循環型のまちづくり
- (4) 安全・安心のまちづくり
- (5) 協働による環境行動のまちづくり

3 数値目標の設定年度

- (1) 現状値・・・令和元（2019）年度（一部、集計時期により異なる場合あり）
- (2) 中間目標値・・・令和7（2025）年度
- (3) 目標値・・・令和12（2030）年度

4 今回の報告内容

- (1) 進捗値・・・令和6（2024）年度
- (2) 中間目標値に向けた進捗判定及び調査担当課による判断
- (3) 調査担当課による判定の理由及び今後の予定
- (4) 計画の中間見直しへの対応案

5 考察

新型コロナウイルス感染症の影響により生活様式が変更になったこともあり、各分野の施策において数値に影響がある部分が見受けられたが、全体的には成果の向上があったといえる。

また、判定が×の場合でも、定量的な判定によらないものは調査担当課に判断してもらい、中間目標や最終目標時点で達成できそうなものは○と見なすことにした。

今回の調査結果を踏まえ、令和 1 2（2030）年度に向けて、目標達成が可能となる実効的な改善策を検討し目標値の達成を目指していきたい。

6 中間見直しへの対応案について

- (1) 現状の計画通りに進んでいる取組は、令和 1 2 年度の目標値に向け指標を継続
- (2) すでに令和 1 2（2030）年度目標値を達成しているものは、指標の見直し
- (3) 具体的な取組指標がないものは、新たな取組指標値の設定
- (4) 取組指標の設定が困難なものは、指標とせずに『取組事項』として記載

■第2次みよし市環境基本計画 取組指標進捗状況調査表

分野：1.脱炭素のまちづくり P50

◎：重複項目のため再掲

赤文字・・・目標値の見直し
青文字・・・項目の削除
黒文字・・・継続

(※) 増加させていくもの・・・「進捗値」が【「現状値」＋（（「中間目標値」－「現状値」）×4/6）】以上であれば「○」

(※) 減少させていくもの・・・「進捗値」が【現状値－（（「現状値」－「中間目標値」）×4/6）】以下であれば「○」

(※) 維持していくもの・・・「進捗値」が現状値と同値であれば「○」

施策	主な取組	取組内容及び概要	現状設定している取組指標	指標の定義	担当課	現状値	進捗値							中間目標値	目標値	関連計画	中間評価	中間見直しでの対応（案）			
						R1	R3	R4	R5	R6	判定（※） （自動計算）	調査担当課 による判断	定量的に判定できるものは「×」の理由と今後の予定、定量的な判定によらないものは調査担当課による判定の理由と今後の予定	R7	R12						
数値目標			市域からの市民一人当たりの二酸化炭素年間排出量（t-CO2/年・人） P51	環境省「部門別CO2排出量現況推計」の数値を当該年度4月1日時点の人口で割り返した値	ゼロカーボン推進室	16.8	15.7	13.8	13.4	12.4	○	○		14.6	12.6		目標値を達成	目標値の見直し			
①地球温暖化対策への対応 P52	P省エネ① 2エネルギーの推進	①・ゼロカーボンシティの取り組み「ゼロカーボンシティ宣言」を踏まえ、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指して、さまざまな取り組みを実施していきます。 P52	ゼロカーボンシティ推進に特化した計画の策定 P53		ゼロカーボン推進室	未策定	未策定	未策定	未策定	策定		○	学識経験者等を委員として構成する市の付属機関（みよし市ゼロカーボンシティ推進協議会）からの答申を受け、令和7（2025）年3月に、2050年までにCO2排出量実質ゼロの実現を目指すロードマップを掲げた「みよし市ゼロカーボンシティ推進計画」を策定した。	策定	計画推進		中間目標を達成	継続			
			電気自動車等充給電設備普及への補助台数（台） P53	電気自動車等充給電設備設置者へ設置費の一部を補助した台数(累計)	生活環境課	0	6	9	15	17	○	○		5	10		目標値を達成	目標値の見直し			
			住宅用太陽光発電システム普及への補助台数(台) P53	住宅用太陽光発電システム設置者へ設置費の一部を補助した台数(累計)	生活環境課	2,071	2,277	2,450	2,609	2,774	○	○		2,650	3,150		中間目標を達成	継続			
		②・省エネルギー行動の推進 燃料、熱、電気といったエネルギー消費に対する意識を高め、省エネ行動に取り組みます。 P52	家庭用エネルギー管理システム（HEMS）普及への補助台数（台） P53	家庭用エネルギー管理システム（HEMS）設置者へ設置費の一部を補助した台数(累計)	生活環境課	122	266	385	505	602	○	○		300	450		目標値を達成	目標値の見直し			
			燃料電池システム普及への補助台数（台） P53	燃料電池システム設置者へ設置費の一部を補助した台数(累計)	生活環境課	155	205	231	267	271	×	○	令和4年度26台、令和5年度26台に対し、令和6年度は14台と申請が少なかった。今後も継続的に広報、ホームページ等で補助金をPRし、設備の導入を促進していく。	300	400		未達成	継続			
		家庭用蓄電システム普及への補助台数（台） P53	家庭用蓄電システム設置者へ設置費の一部を補助した台数(累計)	生活環境課	230	396	532	644	800	○	○		550	850		中間目標を達成	継続				
	P進再 5生 3可① 能 エ2 ネル ギー の推	③・市全体での地球温暖化対策体制の構築 地球温暖化に対する情報や環境にやさしい具体的な行動内容の共有化を図り、市全体で地球温暖化防止に取り組める体制を構築します。 P52	◎ゼロカーボンシティ推進に特化した計画の策定		ゼロカーボン推進室	未策定	未策定	未策定	未策定	策定		○	学識経験者等を委員として構成する市の付属機関（みよし市ゼロカーボンシティ推進協議会）からの答申を受け、令和7（2025）年3月に、2050年までにCO2排出量実質ゼロの実現を目指すロードマップを掲げた「みよし市ゼロカーボンシティ推進計画」を策定した。	策定	計画推進		中間目標を達成	継続			
			①・再生可能エネルギーの活用 地球環境にやさしい太陽光発電などの再生可能エネルギーの活用を積極的に推進します。 P53		◎住宅用太陽光発電システム普及への補助台数(台) P53	住宅用太陽光発電システム設置者へ設置費の一部を補助した台数(累計)	生活環境課	2,071	2,277	2,450	2,609	2,774	○	○		2,650	3,150		中間目標を達成	継続	
			5②環境負荷の少ない交通の推進 P5	P動環 5車 6利に② 用や 促さ1 進しい 自	①・低公害車の導入や利用の推進 家庭や事業所、市の公用車における低公害車の導入や利用を推進します。 P56	低公害車普及への補助台数（台） P56	低公害車購入車へ購入費の一部を補助した台数(累計)	生活環境課	2,973	3,029	3,170	3,205	3,288	○	○		3,150	3,350		中間目標を達成	継続
						②・エコドライブの推進 急発進・急停止をやめる、アイドリングストップを行うなど、燃費の良いエコドライブを推進します。 P56	取組指標なし (計画見直し時に指標検討)												具体的な評価方法がない	(項目の削除)	
P備公 5と共 6利交② 用通 促機2 進関 の整				①・鉄道・バスの相互連携の強化 自家用車を過度に利用しなくても移動することのできる交通体系の実現のために、鉄道・バスの相互連携の強化を図っていきます。 P56	市内公共交通全体の利用者（千人） P56	市内公共交通全体の年間利用者数	都市計画課	3,131	2,332	2,553	2,935	2,955	×	×	新型コロナウイルス感染症の「5類」移行に伴い、移動制限は撤廃されたが、新しい生活様式の確立等により、現状利用者数がコロナ前に戻らない見込みであるため。	3,170	3,200	みよし市地域公共交通計画	未達成	継続	
	さんさんバスの利用者数(千人) P56	さんさんバスの年間利用者数	都市計画課		281	242	285	350	380	○	○		321	336	みよし市地域公共交通計画	目標値を達成	目標値の見直し				
	②・公共交通機関の利用の促進 駅やバス停等の利便性の向上を図り、公共交通機関の利用を促進します。 P56	市民を対象とした乗り方教室の実施状況（回） P56	市民を対象とした乗り方教室の回数	都市計画課	0	2	3	3	4	○	○		3	4	みよし市地域公共交通計画	目標値を達成	目標値の見直し				

■第2次みよし市環境基本計画 取組指標進捗状況調査表

分野：2.自然共生のまちづくり P60

◎：重複項目のため再掲

赤文字・・・目標値の見直し
青文字・・・項目の削除
黒文字・・・継続

(※) 増加させていくもの・・・「進捗値」が【「現状値」＋（（「中間目標値」－「現状値」）×4/6）】以上であれば「○」

(※) 減少させていくもの・・・「進捗値」が【現状値－（（「現状値」－「中間目標値」）×4/6）】以下であれば「○」

(※) 維持していくもの・・・「進捗値」が現状値と同値であれば「○」

施策	主な取組	取組内容及び概要	現状設定している取組指標	指標の定義	担当課	現状値	進捗値							中間目標値	目標値	関連計画	中間評価	中間見直しでの 必要性
						R1	R3	R4	R5	R6	判定（※） （自動計算）	調査担当課 による判断	定量的に判定できるものは「×」の理由と今後の予定、定量的な判定によらないものは調査担当課による判定の理由と今後の予定	R7	R12			
① 豊かな自然の保全・再生 P64	P樹26 4地①の保全・整備	・市内に残る緑の保全 市内に残る鎮守の森や雑木林などのまとまった緑を保全します。 P64	緑被率(%) P62	公園・緑地等の面積／市域面積	都市計画課	37.2	35.1	35.8	35.8	35.7	○	○	県の土地統計年報の最新資料が掲載されていないため、令和5(2023)年度末の数値であるが、計画通り目標に進んでいる。	36	34	目標値を達成	目標値の見直し	
			環境基準達成状況【大気】(%) P62	大気環境基準適合項目数／調査項目数	生活環境課	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	○	○	目標値達成。引き続き環境測定を実施し、経過観察を行う。	100.0	100.0	目標値を達成	目標値の見直し	
			環境基準達成状況【河川】(%) P62	水環境基準適合項目数／調査項目数	生活環境課	86.6	92.7	86.2	91.6	89.8	○	○	目標値達成。引き続き環境測定を実施し、経過観察を行う。	90.0	95.0	中間目標値を達成	継続	
			環境基準達成状況【ため池】(%) P62	水環境基準適合項目数／調査項目数	生活環境課	88.7	90.5	81.0	90.7	96.4	○	○	目標値達成。引き続き環境測定を実施し、経過観察を行う。	90.0	95.0	目標値を達成	目標値の見直し	
			公共施設のバリアフリー率(%) P62	バリアフリー整備済施設数／公共施設数	都市計画課	74.2	74.5	74.5	74.5	74.5	×	○	令和6(2024)年度～令和12(2030)年度 明知住宅バリアフリー対応予定	75	76	未達成	継続	
	P水26 4環境①の2の保全・整備	・水辺の生き物の生育環境の保全 三好池や境川等の水辺環境を保全・整備し、生き物の生息環境として確保します。 P64	緑化指定面積 面積(㎡) P65	市内に残る鎮守の森、里山の保全面積	公園緑地課	49,000	49,000	49,000.0	49,000	49,000.0	○	○		49,000	49,000	目標値を達成	継続	
			緑化指定面積 箇所数(箇所) P65		公園緑地課	17	17	17	17	17	○	○		17	17	目標値を達成	継続	
			・生態系の保全 身近な動植物の生息環境の保全に取り組みます。特に、人々の暮らしの中で手入れされることによって多様な生物を育んできた里山の自然を守ります。 P64	里山で活動する組織(組織) P65	鎮守の森、里山を活用・保全する組織数	公園緑地課	15	15	15	15	15	○	○		15	15	目標値を達成	継続
			自然観察会、水生生物調査の参加者数 P64	みよし市自然観察会、水生生物調査における一般参加者の人数(累計)	生活環境課	90	185	276	342	413	×	○	雨天による水生生物調査中止の影響で、累計値は目標よりも低い結果となった。今年度から自然観察会を委託に出したことで参加者が増加している。	500	1,000	未達成	継続	
			P生き物にやさしい農地形成	・環境保全型農業の推進 農業や化学肥料の使用を控え、生き物にやさしい環境保全型農業を推進します。 P65	◎自然観察会、水生生物調査の参加者数 P65	みよし市自然観察会、水生生物調査における一般参加者の人数(累計)	生活環境課	90	185	276	342	413	×	○	雨天による水生生物調査中止の影響で、累計値は目標よりも低い結果となった。今年度から自然観察会を委託に出したことで参加者が増加している。	500	1,000	未達成
	・河川やため池の環境整備 市民が水辺に親しむことのできる自然豊かな河川やため池の環境づくりに取り組みます。 P64	多自然型河川の整備率(%) P65			多自然型河川改修済延長／計画延長	道路河川課	58	60.0	61.0	64.0	66.2	×	○	R2(2020)～6(2024)年度は河川整備の延長が短かったため、進捗値は低い数値となっている。目標値に向け、計画どおりに事業は進行している。	69	77	未達成	継続
耐震化を行ったため池の数(箇所) P65	耐震化を行ったため池の数(累計)	産業振興課(分室)			1	2	2	3	4	○	○	R7年度の中間目標値を達成したので、今後はR12年度の目標値に向けて計画的に事業を進めていく。	4	7	中間目標値を達成	継続		
P公27 ・2緑地1の整備	・良好な水辺環境の創出 河川やため池の清掃活動などにより、良好な水辺環境を創出します。 P64	取組指標なし (計画見直し時に指標検討)														具体的な評価方法がない	取組指標の設定 (案：清掃活動の回数)	
		・環境保全型農業の推進 農業や化学肥料の使用を控え、生き物にやさしい環境保全型農業を推進します。 P65	取組指標なし (計画見直し時に指標検討)													具体的な評価方法がない	取組指標の設定 (案：環境保全型農業実施件数)	
		・市民と農のふれあい推進 市民農園や体験農園などにより農地を有効活用し、市民が農とふれあうことのできる環境づくりを推進します。 P65	緑と花のセンターの貸し農園利用区画数(区画) P65	緑と花のセンターの貸し農園利用区画数	産業振興課 (緑と花のセンター)	289	268	284	324	327	○	○	300	320	目標値を達成	目標値の見直し		
		・遊休農地の有効活用 遊休農地の発生を防止するとともに、既存の遊休農地については景観作物を植えるなど有効活用を図ります。 P65	遊休農地の面積(ha) P65	市内の管理されていない農地の面積	産業振興課	7	6.8	6.5	5.6	6.8	×	×	農家の高齢化により、農地を保全管理していくことが難しくなっている状況がある。令和7年3月に策定した地域計画により、市内の担い手へ集積化を図ること、また農業委員及び農地利用最適化推進委員による農地利用最適化活動により、遊休農地の解消に努めていく。	5	4	未達成	継続	
② 身近な緑の保全・創出 P67	P公27 ・2緑地1の整備	・公園・緑地の整備 市民が身近に利用でき、自然とふれあうことのできる公園・緑地を整備します。 P67	市民一人当たりの都市公園面積(㎡) P68	都市公園面積／人口	公園緑地課	14.9	16.4	16.4	16.5	16.6	○	○		16	17	中間目標値を達成	継続	
			・公園の緑地化推進 市と市民・地域の協働により、公園の緑化を推進します。 P67	公園・緑地で活動する組織(組織) P68	街区公園を主とした地域団体数	公園緑地課	38	39	39	39	40	○	○	39	40	目標値を達成	目標値の見直し	
	P各27 施設②の緑化推進	・公共施設の緑化推進 街路樹、公共建築物の敷地内の緑化などといった公共施設の緑化を推進します。 P67	施設緑化(㎡) P68	公共施設などの緑化面積	公園緑地課	20,337	20,507	20,506.8	20,507	20,506.8	○	○		20,400	20,500	目標値を達成	目標値の見直し	
			道路緑化(㎡) P68	道路植栽帯などへの緑化面積	道路河川課	2,818	2,818	2,818.0	2,818	2,818.0	×	○	令和6(2024)年度は植栽整備ができる箇所がなかったため同値となっているが、中間目標値に向け、計画どおりに事業は進行している。	2,828	2,848	未達成	継続	
		・緑化の推進 住宅や事業所などの民有地における生垣の設置や屋上・壁面緑化などを推進します。 P67	取組指標なし (計画見直し時に指標検討)													具体的な評価方法がない	取組指標の設定 (案：民有地の緑化率)	

■第2次みよし市環境基本計画 取組指標進捗状況調査表

分野：2.自然共生のまちづくり P60

◎：重複項目のため再掲

赤文字・・・目標値の見直し
青文字・・・項目の削除
黒文字・・・継続

(※) 増加させていくもの・・・「進捗値」が【「現状値」＋（（「中間目標値」－「現状値」）×4/6）】以上であれば「○」

(※) 減少させていくもの・・・「進捗値」が【現状値－（（「現状値」－「中間目標値」）×4/6）】以下であれば「○」

(※) 維持していくもの・・・「進捗値」が現状値と同値であれば「○」

施策	主な取組	取組内容及概要	現状設定している取組指標	指標の定義	担当課	現状値	進捗値							中間目標値	目標値	関連計画	中間評価	中間見直しでの 必要性
						R1	R3	R4	R5	R6	判定（※） （自動計算）	調査担当課 による判断	定量的に判定できるものは「×」の理由と今後の予定、定量的 な判定によらないものは調査担当課による判定の理由と今後の 予定	R7	R12			
③ 公害 対策 の 推 進	P大気汚染防止の1防止	①・大気汚染の防止 「大気汚染防止法」、「県民の生活環境の保全等に関する条例」を遵守し、大気汚染の防止を図ります。 P69	公害防止協定締結事業所(事業所) P70	公害防止協定の締結事業所数	生活環境課	62	62	62	62	63	×	○	締結事業者の増加を図るため、市内に新設される事業所を中心に個別に働きかけており、市側から積極的にアプローチすることで最終目標値には達する見込みである。	66	70	未達成	継続	
		②・大気汚染物質の排出抑制の推進 大気汚染物質の自主的な排出抑制を推進します。 P69	◎公害防止協定締結事業所(事業所) P70	公害防止協定の締結事業所数	生活環境課	62	62	62	62	63	×	○	締結事業者の増加を図るため、市内に新設される事業所を中心に個別に働きかけており、市側から積極的にアプローチすることで最終目標値には達する見込みである。	66	70	未達成	継続	
	P防騒音・振動および悪臭の2	①・騒音・振動および悪臭の防止 「騒音規制法」、「振動規制法」、「悪臭防止法」、「県民の生活環境の保全等に関する条例」を遵守し、騒音・振動及び悪臭の防止を図ります。 P69	◎公害防止協定締結事業所(事業所) P70	公害防止協定の締結事業所数	生活環境課	62	62	62	62	63	×	○	締結事業者の増加を図るため、市内に新設される事業所を中心に個別に働きかけており、市側から積極的にアプローチすることで最終目標値には達する見込みである。	66	70	未達成	継続	
		②・騒音・振動および悪臭の防止にかかる取り組みの推進 騒音・振動及び悪臭の防止となる自主的な取り組みを推進します。 P69	◎公害防止協定締結事業所(事業所) P70	公害防止協定の締結事業所数	生活環境課	62	62	62	62	63	×	○	締結事業者の増加を図るため、市内に新設される事業所を中心に個別に働きかけており、市側から積極的にアプローチすることで最終目標値には達する見込みである。	66	70	未達成	継続	
	P水質汚濁の3防止	①・水質汚濁の防止 「水質汚濁防止法」、「県民の生活環境の保全等に関する条例」を遵守し、水質汚濁の防止を図ります。 P70	◎公害防止協定締結事業所(事業所) P70	公害防止協定の締結事業所数	生活環境課	62	62	62	62	63	×	○	締結事業者の増加を図るため、市内に新設される事業所を中心に個別に働きかけており、市側から積極的にアプローチすることで最終目標値には達する見込みである。	66	70	未達成	継続	
		②・水質汚濁の防止にかかる取り組みの推進 水質汚濁の防止となる自主的な取り組みを推進します。 P70	◎公害防止協定締結事業所(事業所) P70	公害防止協定の締結事業所数	生活環境課	62	62	62	62	63	×	○	締結事業者の増加を図るため、市内に新設される事業所を中心に個別に働きかけており、市側から積極的にアプローチすることで最終目標値には達する見込みである。	66	70	未達成	継続	
④ 快適 で 人 に やさ しい 都 市 空 間 の 形 成	P推進しやすい施設整備の1	①・バリアフリー化の促進 駅や市役所等の公共公益施設のバリアフリー化を促進し、市民が快適で安全に利用できる人にやさしい施設整備を推進します。 P71	取組指標なし (計画見直し時に指標検討)													具体的な評価方法がない	取組指標の設定 (案：公共施設のバリアフリー化率)	
		②・道路整備の促進 歩道や自転車専用道を確保するなど、人にやさしい道路整備を促進します。 P71	歩道等設置道路整備率(%) P72 自転車・歩行者専用道路整備率(%) P72	歩道付き道路の整備率(整備済延長／計画延長) 自転車・歩行者専用道路の整備率 (整備済延長／計画延長)	道路河川課 道路河川課	91 83	93.0 83.0	94.0 83.0	94.0 89.0	94.3 89.0	○ ○	○ ○		93 89	94 89	目標値を達成 目標値を達成	目標値の見直し 目標値の見直し	
	P美しい都市景観の形成2	①・地域の特性を活かした都市景観の形成 地域の特性を活かした、緑豊かな快適に暮らすことのできる都市景観を形成します。 P72	取組指標なし (計画見直し時に指標検討)													具体的な評価方法がない	取組指標の設定 (案：景観計画の策定)	
		②・自然を感じることのできる都市景観の形成 水と緑による連続性を確保した自然を感じることのできる都市景観を形成します。 P72	取組指標なし (計画見直し時に指標検討)													具体的な評価方法がない	取組指標の設定 (案：景観計画の策定)	
		③・環境美化に関する取り組みの推進 不法投棄やポイ捨てのないまちを実現するために各地域が主体となった環境美化の取り組みを推進します。 P72	環境活動団体数(団体) P72	環境美化活動や資源ごみ回収を行う団体数	生活環境課	104	83	88	116	128	○	○		115	125	目標値を達成	目標値の見直し	
	く歴史の拠点づくりによるまちづくり7	①・歴史・文化資源の保存 地域に残り、地域住民に親しまれている神社仏閣や遺跡を適切に保存し、地域のまちづくりの拠点として活用します。 P72	取組指標なし (計画見直し時に指標検討)									○				具体的な評価方法がない	取組指標の設定 (案：歴史・文化資源の保存計画の策定)	
②・歴史・文化資源の活用 市民・事業者・市との協働による神社仏閣や遺跡等の歴史資源を活用したまちづくりを推進します。 P72		歴史民俗資料館利用状況（人） P72 石川家住宅利用状況（人） P72	歴史民俗資料館の年間入館者数 石川家住宅の年間入館者数	歴史民俗資料館 歴史民俗資料館	2,676 4,523	3,643 2,946	5,615 2,977	3,444 5,800	4,803 3,711	○ ×	○ ○	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、縮小していた体験講座を徐々にコロナ前の状態に戻している最中であるため、現状値より低くなっている。来年度は学校等団体の利用者を増やし、入館者の増加を図る。	3,144 5,030	4,481 5,761	みよし市教育振興基本計画「みよし市教育プラン」 みよし市教育振興基本計画「みよし市教育プラン」	目標値を達成 未達成	目標値の見直し 継続	

■第2次みよし市環境基本計画 取組指標進捗状況調査表

分野：3.循環型のまちづくり P74

◎：重複項目のため再掲

赤文字・・・目標値の見直し

青文字・・・項目の削除

黒文字・・・継続

(※) 増加させていくもの・・・「進捗値」が【「現状値」＋（（「中間目標値」－「現状値」）×4/6)】以上であれば「○」

(※) 減少させていくもの・・・「進捗値」が【現状値－（（「現状値」－「中間目標値」）×4/6)】以下であれば「○」

(※) 維持していくもの・・・「進捗値」が現状値と同値であれば「○」

施策	主な取組	取組内容及び概要	現状設定している取組指標	指標の定義	担当課	現状値	進捗値							中間目標値	目標値	関連計画	中間評価	中間見直しでの 必要性
						R1	R3	R4	R5	R6	判定（※） （自動計算）	調査担当課 による判断	定量的に判定できるものは「×」の理由と今後の予定、定量的 な判定によらないものは調査担当課による判定の理由と今後の 予定	R7	R12			
数値目標			1人1日当たりのごみ排出量(家庭系)(g) P75	市民1人1日当たりの家庭系ごみの排出量(年間家庭系ごみ排出量／人口・365日)	生活環境課	514	524	512.0	498.0	482.0	○	○		487	475	ごみ処理基本計画	中間目標値を達成	目標値を見直し
① 資源の循環利用の推進 P76	Pの37の①の減量の推進	・ごみ減量の推進 ごみの減量化を目指して家庭・事業所からのごみの排出ゼロを目指します。 P76	◎1人1日当たりのごみ排出量(家庭系)(g) P75	市民1人1日当たりの家庭系ごみの排出量(年間家庭系ごみ排出量／人口・365日)	生活環境課	514	524	512.0	498.0	482.0	○	○		487	475	ごみ処理基本計画	中間目標値を達成	目標値を見直し
		・リデュースの推進 ごみになるものは買う量・使用量を減らす（リデュース）取り組みを推進します。 P76	生ごみ処理機および生ごみ堆肥化容器購入への補助台数(台) P78	生ごみ処理機及び生ごみ堆肥化容器購入者へ購入費の一部を補助した台数(累計)	生活環境課	3,457	3,502	3,555	3,580	3,635	○	○		3,625	3,765		中間目標値を達成	継続
		・リフューズの推進 不要なものは受け取らない（リフューズ）取り組みを推進します。 P76	◎1人1日当たりのごみ排出量(家庭系)(g) P75	市民1人1日当たりの家庭系ごみの排出量(年間家庭系ごみ排出量／人口・365日)	生活環境課	514	524	512.0	498.0	482.0	○	○		487	475	ごみ処理基本計画	中間目標値を達成	目標値を見直し
		・リユースの推進 使用できるものは繰り返し使う（リユース）取り組みを推進します。 P76	広報紙「譲ります」「譲ってください」掲載物品数(品) P78	広報紙での「譲ります」「譲ってください」年間掲載物品数(実数)	生活環境課	39	19	18	37	60	○	○		45	50		中間目標値を達成	継続
		・リサイクルの推進 不用になったものは再資源化する（リサイクル）取り組みを推進します。 P76	リサイクル率(%) P78	年間ごみ総排出量のうち資源化された割合（総資源化量／年間ごみ排出量×100）	生活環境課	19.3	18.4	15.6	13.4	14.8	×	×	ごみと資源の分別の徹底を強化し、リサイクル率向上を図る。プラスチック資源の分別回収開始、リサイクルステーションの拡充、4Rの推進等により、リサイクルを推進する。	27.4	28.4		未達成	継続
		・4Rの啓発 市民1人ひとりが「4R」を認識し、市全体でごみの減量に取り組んでいます。 P76	◎1人1日当たりのごみ排出量(家庭系)(g) P75	市民1人1日当たりの家庭系ごみの排出量(年間家庭系ごみ排出量／人口・365日)	生活環境課	514	524	512.0	498.0	482.0	○	○		487	475	ごみ処理基本計画	中間目標値を達成	目標値を見直し
			◎リサイクル率(%) P78	年間ごみ総排出量のうち資源化された割合（総資源化量／年間ごみ排出量×100）	生活環境課	19.3	18.4	15.6	13.4	14.8	×	×	ごみと資源の分別の徹底を強化し、リサイクル率向上を図る。プラスチック資源の分別回収開始、リサイクルステーションの拡充、4Rの推進等により、リサイクルを推進する。	27.4	28.4		未達成	継続
② 資源の地域循環 P79	Pの37の②の効利用 P組37の②の地産地消の取り組み	・節水の推進 節水に対する意識を高め、限りある水を大切にする取り組みを推進します。 P79	雨水貯留タンク設置への補助台数（台） P80	雨水貯留タンク設置者への設置費の一部を補助した台数（累計）	道路河川課	28	42	54	62	71	○	○		60	85		中間目標値を達成	継続
		・水源地の環境保全 安全でおいしい水を確保するために、水源地の環境保全に貢献します。 P79	取組指標なし (計画見直し時に指標検討)														具体的な評価方法がない	取組指標の設定 (案：水源地の水質の環境基準達成状況)
		・地産地消の推進 食糧の輸送に伴う環境への負荷を低減し、資源の地域循環を促すために、地域で採れた農作物は地域で消費する地産地消の取り組みを推進します。 P79	産地施設などの店舗数(店舗) P80	産直施設および大型スーパー内産直コーナー数	産業振興課	34	38	37	34	34	×	×	高齢化により直売施設を閉めていることが店舗数減少の理由と考えられる。市全体で地産地消を推進し、啓発活動を行っている。	37	40		未達成	継続
			学校給食センターでの利用率(%) P80	学校給食センターでの地元農産物の食材利用率(愛知県産品目数の割合)	学校給食センター	33.4	38.3	38.9	38.2	37.5	×	○	天候などの事情から、地元農産物を使用することが難しいことがあるため。今後も引き続き地元農産物を積極的に使用予定。	40	40	みよし市教育振興基本計画「みよし市教育プラン」第4次みよ	未達成	継続

■第2次みよし市環境基本計画 取組指標進捗状況調査表

分野：4.安全・安心のまちづくり P82

◎：重複項目のため再掲

赤文字・・・目標値の見直し

青文字・・・項目の削除

黒文字・・・継続

(※) 増加させていくもの・・・「進捗値」が【「現状値」＋（（「中間目標値」－「現状値」）×4/6）】以上であれば「○」

(※) 減少させていくもの・・・「進捗値」が【現状値－（（「現状値」－「中間目標値」）×4/6）】以下であれば「○」

(※) 維持していくもの・・・「進捗値」が現状値と同値であれば「○」

施策	主な取組	取組内容及び概要	現状設定している取組指標	指標の定義	担当課	現状値	進捗値						中間目標値	目標値	関連計画	中間評価	中間見直しでの必要性		
						R1	R3	R4	R5	R6	判定（※） （自動計算）	調査担当課 による判断	定量的に判定できるものは「×」の理由と今後の予定、定量的な判定によらないものは調査担当課による判定の理由と今後の予定	R7				R12	
数値目標			環境基準達成状況【大気】（％） P84	大気環境基準適合項目数／調査項目数	生活環境課	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	○	○	目標値達成。引き続き環境測定を実施し、経過観察を行う。	100.0	100.0		目標値を達成	継続	
			環境基準達成状況【河川】（％） P84	水環境基準適合項目数／調査項目数	生活環境課	86.6	92.7	86.2	91.6	89.8	○	○	目標値達成。引き続き環境測定を実施し、経過観察を行う。	90.0	95.0		中間目標値を達成	継続	
			環境基準達成状況【ため池】（％） P84	水環境基準適合項目数／調査項目数	生活環境課	88.7	90.5	81.0	90.7	96.4	○	○	目標値達成。引き続き環境測定を実施し、経過観察を行う。	90.0	95.0		目標値を達成	目標値の見直し	
			公共施設のバリアフリー率（％） P84	バリアフリー整備済施設数／公共施設数	都市計画課	74.2	74.5	74.5	74.5	74.5	×	○	令和6（2024）年度～令和12（2030）年度 明知住宅バリアフリー対応予定	75.0	76.0		未達成	継続	
			市域に占める市街化区域の割合（％） P84	市街化区域面積／市域面積	都市計画課	33.8	33.8	33.8	33.9	33.9	×	○	令和7（2025）年度末 福谷大沢地区市街化編入予定	34.0	34.0		未達成	継続	
			準用河川の改修率（％） P84	改修済の準用河川延長／準用河川の総延長	道路河川課	57.0	58.0	59.0	60.0	60.3	×	○	R2(2020)～6(2024)年度は河川整備の延長が短かったため、進捗値は低い数値となっている。目標値に向け、計画どおりに事業は進行している。	61.0	64.0		未達成	継続	
①環境汚染の防止とリスク低減 P85	P8（大気汚染の防止） 再掲	4（大気汚染の防止） ①（大気汚染の防止） 再掲	①・大気汚染の防止 「大気汚染防止法」、「県民の生活環境の保全等に関する条例」を遵守し、大気汚染の防止を図ります。 P85	◎公害防止協定締結事業所(事業所) P86	公害防止協定の締結事業所数	生活環境課	62	62	62	62	63	×	○	締結事業者の増加を図るため、市内に新設される事業所を中心に個別に働きかけており、市側から積極的にアプローチすることで最終目標値には達する見込みである。	66	70		未達成	継続
			②・大気汚染物質の排出削減 大気汚染物質の自主的な排出抑制を推進します。 P85	◎公害防止協定締結事業所(事業所) P86	公害防止協定の締結事業所数	生活環境課	62	62	62	62	63	×	○	締結事業者の増加を図るため、市内に新設される事業所を中心に個別に働きかけており、市側から積極的にアプローチすることで最終目標値には達する見込みである。	66	70		未達成	継続
	P8（騒音・振動の防止） 再掲	4（騒音・振動の防止） ①（騒音・振動の防止） 再掲	①・騒音・振動および悪臭の防止 「騒音規制法」、「振動規制法」、「悪臭防止法」、「県民の生活環境の保全等に関する条例」を遵守し、騒音・振動及び悪臭の防止を図ります。 P85	◎公害防止協定締結事業所(事業所) P86	公害防止協定の締結事業所数	生活環境課	62	62	62	62	63	×	○	締結事業者の増加を図るため、市内に新設される事業所を中心に個別に働きかけており、市側から積極的にアプローチすることで最終目標値には達する見込みである。	66	70		未達成	継続
			②・騒音・振動および悪臭の防止にかかる取り組みの推進 騒音・振動及び悪臭の防止となる自主的な取り組みを推進します。 P85	◎公害防止協定締結事業所(事業所) P86	公害防止協定の締結事業所数	生活環境課	62	62	62	62	63	×	○	締結事業者の増加を図るため、市内に新設される事業所を中心に個別に働きかけており、市側から積極的にアプローチすることで最終目標値には達する見込みである。	66	70		未達成	継続
	P8（水質汚濁の防止） 再掲	4（水質汚濁の防止） ①（水質汚濁の防止） 再掲	①・水質汚濁の防止 「水質汚濁防止法」、「県民の生活環境の保全等に関する条例」を遵守し、水質汚濁の防止を図ります。 P86	◎公害防止協定締結事業所(事業所) P86	公害防止協定の締結事業所数	生活環境課	62	62	62	62	63	×	○	締結事業者の増加を図るため、市内に新設される事業所を中心に個別に働きかけており、市側から積極的にアプローチすることで最終目標値には達する見込みである。	66	70		未達成	継続
			②・水質汚濁の防止にかかる取り組みの推進 水質汚濁の防止となる自主的な取り組みを推進します。 P86	◎公害防止協定締結事業所(事業所) P86	公害防止協定の締結事業所数	生活環境課	62	62	62	62	63	×	○	締結事業者の増加を図るため、市内に新設される事業所を中心に個別に働きかけており、市側から積極的にアプローチすることで最終目標値には達する見込みである。	66	70		未達成	継続

■第2次みよし市環境基本計画 取組指標進捗状況調査表

分野：4.安全・安心のまちづくり P82

◎：重複項目のため再掲

赤文字・・・目標値の見直し

青文字・・・項目の削除

黒文字・・・継続

(※) 増加させていくもの・・・「進捗値」が【「現状値」＋（（「中間目標値」－「現状値」）×4/6）】以上であれば「○」

(※) 減少させていくもの・・・「進捗値」が【現状値－（（「現状値」－「中間目標値」）×4/6）】以下であれば「○」

(※) 維持していくもの・・・「進捗値」が現状値と同値であれば「○」

施策	主な取組	取組内容及び概要		現状設定している取組指標	指標の定義	担当課	現状値	進捗値						中間目標値	目標値	関連計画	中間評価	中間見直しでの 必要性
							R1	R3	R4	R5	R6	判定（※） （自動計算）	調査担当課 による判断	定量的に判定できるものは「×」の理由と今後の予定、定量的な判定によらないものは調査担当課による判定の理由と今後の予定	R7	R12		
② 良好な生活環境 P87	P推進4 8進・② 7や② さ・1 しい 施設 整備 の	①	・バリアフリー化の促進 駅や市役所などの公共公益施設のバリアフリー化を促進し、市民が快適で安全に利用できる人にやさしい施設整備を推進します。 P87	取組指標なし (計画見直し時に指標検討)													具体的な評価方法がない	取組指標の設定 (案：公共施設のバリアフリー化率)
			・道路整備の促進 歩道や自転車専用道を確保するなど、人にやさしい道路整備を促進します。 P87	◎歩道等設置道路整備率(%) P88 ◎自転車・歩行者専用道路整備率(%) P88	歩道付き道路の整備率(整備済延長／計画延長) 道路河川課	91	93	94	94.0	94	○	○		93	94		目標値を達成	目標値の見直し
		②	・地域の特性を活かした都市景観の形成 地域の特性を活かした、緑豊かな快適に暮らすことのできる都市景観を形成します。 P88	景観に配慮した地区数（地区） P88	景観に配慮した地区計画の策定数 都市計画課	8	8	8	9	9	○	○		8	9		目標値を達成	目標値の見直し
			・自然を感じることもできる都市景観の形成 水と緑による連続性を確保した自然を感じることもできる都市景観を形成します。 P88	取組指標なし (計画見直し時に指標検討)													具体的な評価方法がない	取組指標の設定 (案：景観計画の策定)
	P美4 8し・② 8都・2 景観 の 形成	③	・環境美化に関する取り組みの推進 不法投棄やポイ捨てのないまちを実現するために各地域が主体となった環境美化の取り組みを推進します。 P88	取組指標なし (計画見直し時に指標検討)													具体的な評価方法がない	取組指標の設定 (案：景観計画の策定)
			・歴史・文化資源の保全 地域に残り、地域住民に親しまれている神社仏閣や遺跡を適切に保全し、地域のまちづくりの拠点として活用します。 P88	取組指標なし (計画見直し時に指標検討)													具体的な評価方法がない	取組指標の設定 (案：歴史・文化資源の保存計画の策定)
	P歴史4 8掘・② 点文・3 づくり 資源 による まちづくり	④	・歴史・文化資源の活用 市民・事業者・市との協働による神社仏閣や遺跡等の歴史資源を活用したまちづくりを推進します。 P88	◎歴史民俗資料館利用状況（人） P88	歴史民俗資料館の年間入館者数 歴史民俗資料館	2,676	3,643	5,615	3,444	4,803	○	○		3,144	4,481	みよし市教育振興基本計画「みよし市教育プラン」	目標値を達成	目標値の見直し
				◎石川家住宅利用状況（人） P88	石川家住宅の年間入館者数 歴史民俗資料館	4,523	2,946	2,977	5,800	3,711	×	○	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、縮小していた体験講座を徐々にコロナ前の状態に戻している最中であるため、現状値より低くなっている。来年度は学校等団体の利用者を増やし、入館者の増加を図る。	5,030	5,761	みよし市教育振興基本計画「みよし市教育プラン」	未達成	継続
③ 災害に強いまちづくり P90	P避気4 9候・③ 0変③ 動・1 や自然 災害による 環境影響の 低減・回	①	・気候変動適応策の推進 地球温暖化による気候変動や温暖化が原因で発生する自然災害の被害を最小限に抑えるための適応という考え方の認知度を高めるため、市民・事業者および行政機関関係者への周知や普及啓発を行います。 P90	防災リーダーの登録者（人） P90	リーダー登録者数 防災安全課	107	84	101	98	106	×	○	新型コロナウイルスや能登半島地震の影響により、防災リーダー養成講座を開催できなかった時期があり、登録者数は増加していないが、昨年度は養成講座を開催したことで登録者数が増加しており、今年度も引き続き養成講座を開催し、登録者数の増加に努める。	135	160	地域防災計画 (数値目標等は載っていない)	未達成	継続
				防災情報メール登録者（人） P90	防災情報メール登録者数 防災安全課	3,563	3,051	3,107	3,232	3,253	×	×	市の公式LINEでも防災情報を配信されていることから新規登録者数の大きな増加は見込まれないが、今後も啓発内容等を検討し、登録者の増加に努める。	3,850	4,100	地域防災計画 (数値目標等は載っていない)	未達成	継続
		②	・自然の機能を生かす取り組みの推進 森林や農地、河川は災害被害を防ぐ機能を持っています。これらの機能を発揮できる自然を守り育てます。 P90	準用河川の改修済延長（m） P90	準用河川の改修済延長（累計） 道路河川課	5,585	5,658	5,688	5,768	5,828	×	○	R2(2020)～6(2024)年度は橋梁整備の延長が短かったため。進捗値は低い数値となっていますが、目標値に向け、計画どおりに事業は進行しています。	5,925	6,205		未達成	継続
			・災害廃棄物処理の体制整備 大規模災害の発生に備えるため、災害廃棄物処理計画に従って、事業者等と連携した災害廃棄物処理体制や広域連携体制を構築します。 P90	取組指標なし (計画見直し時に指標検討)													具体的な評価方法がない	(項目の削除、 災害廃棄物処理計画に)

■第2次みよし市環境基本計画 取組指標進捗状況調査表

分野：5.協働による環境行動のまちづくり P92

◎：重複項目のため再掲

赤文字・・・目標値の見直し

青文字・・・項目の削除

黒文字・・・継続

(※) 増加させていくもの・・・「進捗値」が【「現状値」＋（（「中間目標値」－「現状値」）×4/6)】以上であれば「○」

(※) 減少させていくもの・・・「進捗値」が【現状値－（（「現状値」－「中間目標値」）×4/6)】以下であれば「○」

(※) 維持していくもの・・・「進捗値」が現状値と同値であれば「○」

施策	主な取組	取組内容及び概要	現状設定している取組指標	指標の定義	担当課	現状値	進捗値							中間目標値	目標値	関連計画	中間評価	中間見直しでの 必要性
						R1	R3	R4	R5	R6	判定（※） （自動計算）	調査担当課 による判断	定量的に判定できるものは「×」の理由と今後の予定、定量的な判定によらないものは調査担当課による判定の理由と今後の予定	R7	R12			
数値目標			環境問題に各主体が協働で取り組むべきと感じる市民の割合(%) P93	行政評価市民アンケートで市民が参画し、ともに支え合う協働のまちづくりが「重要・やや重要」と回答した市民の割合	生活環境課	47.2	46.1	65.2	47.6	46.8	×	×	行政評価市民アンケートにおいて、環境に関する項目の重要度は高いが、協働のまちづくりの重要度が低い値となっており、協働によるまちづくりを重要とする認識がかなり薄れていると考える。今後は、協働によるまちづくりの重要性を感じていただけるような、市民と協働した事業の充実を図る。	60.0	70.0		未達成	継続
① 環境学習の推進 P94	P 充 学 5 9 実 校 ① 4 教 育 ・ 1 ・ 生 涯 学 習 の	① ・子どもの自然体験学習の推進 子どもが学校教育を通じて自然とふれあえる体験学習などを推進します。 P94	環境教育の開催数（回） P95	市内の保育園・小中学校の環境教育の開催数	生活環境課	11	4	13	24	31	○	○	引き続き子どもが学校教育を通じて自然とふれあえる環境教育を進めていく。	15	20		目標値を達成	目標値の見直し
		② ・生涯学習における環境学習の推進 環境について幅広く学ぶことできる生涯学習を推進します。 P94	生涯学習講座の開催数(回) P95	みよし悠学カレッジにおける環境学習に関する講座の開催数	生涯学習推進課	7	7	7	7	8	×	○	今後は、令和7年度（中間目標）に向けて【生活創造】のガーデンニング講座を中心に、環境学習に関する講座の充実を図っていく予定。	10	15	みよし市教育振興基本計画「みよし市教育プラン」 生涯学習推進基本計画改訂版	未達成	継続
	P 環 5 9 境 ・ 4 保 ① 全 ・ 行 2 動 の 推 進	① ・総合的環境教育・学習プログラム構築 総合的な環境教育や環境学習のあり方についての調査・研究を進め、学習プログラムの構築を目指します。 P94	取組指標なし （計画見直し時に指標検討）														具体的な評価方法がない	取組指標の設定 （案：学習プログラムの構築）
		② ・総合的環境教育・学習プログラム推進体制の構築 総合的な環境教育や環境学習の推進を図っていくための体制を構築します。 P94	取組指標なし （計画見直し時に指標検討）														具体的な評価方法がない	取組指標の設定 （案：環境教育の実施回数）
② 環境保全行動の推進 P96	P 境 協 5 9 保 働 ① 6 全 に ② の よ 推 進 環 1	① ・協働ネットワークによる環境保全 市民、市民団体、事業者、教育機関、市などが、環境保全に対する意識を高め、保全活動に取組みます。 P96	◎環境団体数(団体) P97	環境美化活動や資源ごみ回収を行う団体数	生活環境課	104	83	88	116	128	○	○		115	125		目標値を達成	目標値の見直し
			環境分野の公益活動団体数(団体) P97	公益活動団体の中で環境保全に取り組んでいる団体数	生活環境課	6	8	8	9	13	○	○	環境保全に取り組む団体に対し、協働担当とともに個別に働きかけるなど今後も増加に努める。	8	10		目標値を達成	目標値の見直し
	P 発 環 5 9 進 境 ・ 6 情 ② 報 ・ の 2 収 集 ・	① ・環境情報の収集・活用 環境に関する最新情報や研究成果などを収集・活用します。 P96	取組指標なし （計画見直し時に指標検討）														具体的な評価方法がない	取組指標の設定 （案：広報紙などの環境情報の掲載回数）
		② ・環境情報の共有 広報紙やホームページを活用して、環境に関する情報を各主体が共有化します。 P96	取組指標なし （計画見直し時に指標検討）														具体的な評価方法がない	取組指標の設定 （案：広報紙などの環境情報の掲載回数）
	P 活 広 5 9 動 域 ・ 6 の ② 推 な ・ 進 環 3 境 保 全	① ・広域ネットワークによる自然環境体験学習 市外の人々と交流し、自然環境を学び、体験する機会や活動を推進します。 P96	取組指標なし （計画見直し時に指標検討）														具体的な評価方法がない	取組指標の設定 （案：体験学習の実施回数）